

保科 洋 ほしな ひろし 名誉指揮者・音楽総監督

昭和11年東京に生まれる。両国高校卒業後、昭和29年東京芸術大学作曲科に入学。昭和35年同大卒業とともに、毎日コンクール作曲部門管弦楽曲の部第一位入賞。昭和38年には、文部省芸術祭奨励賞受賞。東京音楽大学、愛知県立芸術大学を経て、昭和58年兵庫教育大学教授。平成13年3月定年退官し同大名誉教授となる。作曲・指揮の両面で活躍。

吹奏楽の作曲では、日本を代表する一人で、海外でも評価は高い。全日本吹奏楽コンクール課題曲も過去3回委嘱されている。

作曲家としての見地から、また多くのアマチュア音楽団体の豊富な指導経験と、理論的根拠に基づく独自のユニークで説得力のある音楽解釈は、近年注目を集め高く評価されている。それらの集大成として音楽の友社より『生きた音楽表現へのアプローチ』=エネルギー思考に基づく演奏解釈法=(保科 洋著)が出版されている。類書のない理論的音楽解釈法として、アマチュア音楽愛好家はもちろん専門家の間でも評判になっている。

主な作品に、「カタストロフィ」「古記」「吹奏楽のためのカプリス」「愁映」「風紋」「パストラル」「祝典舞曲」「響宴」「管弦楽のための変奏曲」、創作オペラ「はだしのゲン」などがある。

保科音楽事務所 Hoshina Music Office
www.hoshina-music.com/

秋山 隆 あきやま たかし 常任指揮者

昭和40年岡山市に生まれる。高松中学校吹奏楽部にて奥原弘巳氏に指導を受け当時新設の岡山一宮高校に進学。昭和58年岡山県では初の学生指揮者による吹奏楽コンクールA部門金賞受賞として注目される。

昭和59年岡山大学医学部入学と同時に、岡山大学交響楽団にトランペット奏者として入部。現役時代には学生指揮者を務め、昭和62年の第2回全日本大学オーケストラコンクール第1位獲得に貢献する。卒業後サブコンダクターとして、常任指揮者保科洋氏のアシスタントを行い今日に至る。

平成6年当団を同級生後輩らと独自に組織し、責任者兼指揮者として活動。第4回定期演奏会後、医学部助手を休職しアメリカ留学(カリフォルニア大学パークレー校客員研究員)。その間当団も活動を停止。帰国後活動再開。

トランペットを鈴木勝久氏に師事。指揮法を奥原弘巳氏、保科洋氏、David Milnes 氏に師事。

平成14年10月、岡山県倉敷市の川崎医科大学病理学教室に赴任し現在に至る。医学博士、病理専門医。

津上 崇 つがみ たかし テノール独唱

長崎県出身。大分県立芸術短期大学附属緑丘高等学校音楽科卒業。国立音楽大学卒業後、ドイツ・ミュンヘンに留学。ザルツブルク モーツァルトウムマスタークラス、アウグスブルク モーツァルト音楽院で学ぶ。学生時よりオラトリオなどのソリストとして活動し、ミュンヘンでの初リサイタルは新聞で好評を得る。2004年保科アカデミー室内管弦楽団創立10周年東京公演でもソリストを務めた。2006年岡山県立美術館ホール(シューマン:歌曲集『詩人の恋』ほか)、2009年ルネスホール(シューベルト:歌曲集『美しき水車小屋の娘』)でリサイタル、岡山シンフォニーホール開館15周年記念オペラ『ワカヒメ』(兄役)、ベートーヴェン第九交響曲やメサイアのテノールソロをはじめ、オペラやミュージカル、合唱指導、小学校での歌唱指導など岡山・広島県を中心に幅広く活動している。また声楽セミナーなどにも参加しドイツ歌曲をテーマに研究している。中国学園大学、就実大学、岡山県立岡山城東高等学校非常勤講師。(社)日本演奏連盟会員。せせらぎコーラス指揮者。

保科アカデミー室内管弦楽団

“アンサンブル=ハーモニア”

この団体は岡山大学交響楽団OBと一部現役部員の協力を得て1994年に結成されたユニークなオーケストラである。メンバーは公務員・会社員・教員・医師・専業主婦・大学院生および大学生と様々であるが、共通しているのは全員岡山大学交響楽団の関係者であり、『保科節』(ほしなふし=「保科理論」に基づく音楽解釈と演奏)に深く共鳴している点である。岡大オケとは、また違うコンセプト(編成・曲目・練習時間など)で、その実践を目指すのが目的である。

岡山大学交響楽団は55年を越える歴史と数々の伝統を有する大学オケである。年2回の岡山シンフォニーホールでの定期的な演奏会のほか、1983年以来5年毎6回の大阪・ザ・シンフォニーホールでの自主公演や、1987年の第2回全日本大学オーケストラコンクールでの第1位受賞を含む、3度の東京での演奏により、全国的にも名を知られるようになっている。

その岡大オケを45年以上もの永きに渡り、手塩にかけて育て上げたのが、常任指揮者保科洋氏である。いうまでもなく『保科アカデミー室内管弦楽団』という名称は、氏の教え子たちの集まりという意味であり、「ハーモニーを重視しながら、緻密な演奏を目指す」という氏の演奏理念を強調するのが“アンサンブル=ハーモニア”というネーミングの由来である。

1999年から2年間主宰者秋山の米国留学により活動を停止していたが、2001年4月には活動再開記念演奏会を行った。2002年4月には岡山市郊外に専用練習場『響塾洋楽堂』も完成した。2004年には創立10周年記念として、2007年2月には第10回定期を記念して「第一生命ホール」において東京公演を行ったが満席のお客様を迎えて大成功となった。昨年は創立15周年記念として特別に編成を大きくして、チャイコフスキーの悲愴交響曲と、保科先生の管弦楽曲2曲を携えて、「すみだトリフォニーホール」において3回目の東京公演を開催し好評を博した。今後も更に一層充実したユニークな音楽活動が期待される。

社会人が中心で、平均して月一度の練習でどこまでできるのか未知数であるが、共通体験・共通言語を持つ者同志で楽しみつつ、真剣に『保科節』の実践に取り組んでいる。

演奏会場およびお問合せ先

▽ 財団法人 久世エスパス振興財団

〒719-3214 真庭市鍋屋1-1
TEL:0867-42-7000 FAX:0867-42-7202

▽ 早島町民総合会館 ゆるびの舎

〒701-0303 岡山県都窪郡早島町前湯370-1
TEL:086-482-4800 FAX:086-482-4802

▽ 備前市市民センター TEL:0869-64-1133

〒705-0021 岡山県備前市西片上17-2

▽ 木村病院 TEL:0869-64-2277

〒705-0021 岡山県備前市西片上15-3

《保科アカデミー室内管弦楽団後援会のご案内》

当団後援会は年会費1口3000円で、小学生以上の方でしたらどなた様でもご加入頂けます。当団演奏活動のご案内と、1口あたり定期公演2名様分のご招待券をお送りいたします。その他、岡山大学交響楽団のサマーコンサートと、定期演奏会の招待券も2名様分ずつ差し上げております。

後援会連絡先: 〒700-0825 岡山市北区田町 1-8-4 梅田 環
Tel & Fax: 086-231-3778
e-mail: Hoshina_Academy@hotmail.com